

日本人にとってお米は主食であり、歴史的にも長い付き合いのある作物です。このため、私たちはイネについてよく知っており、その品種改良（育種）技術の研究や開発の経験もあり、日本にはイネの研究者が多くおります。今では、最先端技術であるゲノム編集技術も用いて、食料以外にも広く活用するための研究が進められています。

今回は農研機構・生物機能利用研究部門の小松 晃先生をお招きして、お米の品種改良についてお話を伺います。

スピーカー：小松 晃 氏

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 生物機能利用研究部門、上級研究員。

イネの遺伝子組換え技術やゲノム編集技術を用いた食用、飼料用米の開発を行っている。また、農水省技術会議事務局勤務時代は、遺伝子組換え技術に対する市民の理解を深めるためのコミュニケーション活動を推進し、現在も研究者の立場から積極的に関わっている。

2016年10月30日（日）

13:30 ~ 15:30 (受付は開始 15 分前より)

名古屋市科学館 6階 学習室

**対象：おコメやバイオテクノロジーに関心のある方
(中学生以上) 20名**

参加費：無料 コーヒーとお菓子付き

(ただし、高校生以上は科学館の観覧料が必要になります。)

申込み方法：

○往復はがき ①参加者の氏名、②住所、③電話番号、④年齢、⑤返信面にはあて名を記入し、下記科学館「バイオカフェ」担当へお送りください。

○インターネットによる電子申請 名古屋市電子申請サービス

「キーワード検索」で「名古屋市科学館」と入力してください。

パソコン用 <http://www.e-shinsei.city.nagoya.jp/>

携帯電話用 <http://www.e-shinsei.city.nagoya.jp/m/>

締切 10月16日（日）必着。 応募者多数の場合は抽選です。

新しいおコメをもとめて

バイオカフェ

主催：特定非営利活動法人くらしとバイオプラザ21、名古屋市科学館

従来の育種からゲノム編集まで

お問い合わせ：



(内容に関して) 特定非営利活動法人くらしとバイオプラザ21

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 3-5-3 日宝ビル 8階

電話 03-5651-5810、電子メール bio@life-bio.or.jp、ホームページ www.life-bio.or.jp/

(申込み等に関して) 名古屋市科学館 バイオカフェ担当

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄二丁目 17番 1号 (芸術と科学の杜・白川公園内)

電話 052-201-4486、ファクシミリ 052-203-0788、ホームページ www.ncsm.city.nagoya.jp